



みずほインド日本研究センター



भारतीय प्रबंध संस्थान बंगलूर
INDIAN INSTITUTE OF MANAGEMENT
BANGALORE

MIJSC
Mizuho India Japan Study Centre

インド日本研究センター
भारत जापान अध्ययन केन्द्र
India Japan Study Centre



みずほインド日本研究センター

みずほインド日本研究センターは、インドと日本の相互の関心分野に関する国際的、学際的、包括的な研究を追求し、学生、研究者、ビジネスマネージャー、政策立案者に日本とインドのビジネスに対する理解を深めてもらうための、研究とネットワーキングの主要な拠点となることを目指して設立されました。

MIJSCは、両国の学术界、産業界の専門家、政府機関の間で、ビジネスのベストプラクティスの共有、政府の政策の指針、イノベーションと起業家精神の課題への対応、技術を通じた持続可能性への取り組みの促進、文化の理解などの分野で、さまざまな共同イニシアチブを推進し、より強い社会的絆を築いています。

学術的な取り組み

国際市場向けのビジネス・プランニング:日本-

文化的に異なる地域でのビジネス創造の複雑さを理解できるようにすることを目的として、クリシュナ・スンダール教授が率いるセンターが提供するIIMB PGPプログラムの選択科目です。このコースのハイライトは、2週間の日本でのイマージョンであり、日本の産業界、学术界、社会に触れることができます。このイマージョンにより、学生は21世紀に必要な能力を探求するための現実的な状況を得ることができます。

日本: 経済・経営・政治・社会(JEMPS)

IIMBのPGP、PGPM、EPGPコースの学生を対象に、教授のスバシッシュ・グプタさんは率いる教員チームが新たな選択科目を提供しました。このコースは、日本の政治システムの構造とその経済との相互作用に焦点を当てて、日本の経済発展の最近の歴史を理解するように設計されており、学生が日本社会を理解し、日本の経営慣行を理解するのに役立ちます。





エグゼクティブ教育の取り組み

印日リーダーシップ・プログラム (IJLP)

IJLPは、経営者や起業家を対象に、革新的なプロジェクトのアイデアを適切なアクションプランとともに開発するユニークなプログラムです。インドと日本の若いリーダーたちは、インド (IIMB) と日本 (提携大学) で2週間のブートキャンプのようなプログラムに参加し、日印共同プロジェクトとして育てられる新しいビジネスアイデアの種を作ることを目的としています。

企業組織と経営 - 日本 (BOM - J)

BOM - Jプログラムは、インドの日系企業で働く様々な経歴、スキル、経験を持つ管理職レベルの参加者や、日系企業とのビジネスに関心のあるインド企業の管理職を対象に提供される予定の、マネジメントに関するパートタイムの証明書プログラムです。



研究プログラム

MIJSCは、インドと日本における組織的な調査の質を向上させ、インドと日本の企業部門に積極的かつ深い影響を与える研究者の臨界量を構築することを目的としています。当センターは、IIMBの教員、他の研究所、産業界の専門家による幅広い研究プロジェクトを支援しています（インドと日本に関連する研究）。これまでに5つの論文が発表されており、その他の研究プロジェクトも進行中です。

当センター
の研究の優先課題



ビジネスとマネジメント



技術



持続的発展



社会と文化



インドと日本の中小企業

発表された研究論文

「サービスにおける日印関係と日印包括的経済連携協定」

-ルパ・チャンダ教授

「インドと日本のビジネスグループ」

-スバンシシュ・グプタ教授

「何もないとこが全て」-日本の能楽とインドの能楽の比

-ダモダラン教授

「スピードと社会経済的発展：インド鉄道の影響」

-N.ラヴィ教授

「貨物専用鉄道：現在の課題」

-G.ラグラム教授

日本からインドへFDI流入の動向 :教授のルパ・チャンダ



産学連携

ビジネス・エクセレンスとトランスフォーメーション (B.E.T.) インデックス

みずほインド日本研究センター (MIJSC) の取り組みであるBETインデックスは、資金、市場、および／または技術的な支援を求めているインドの中小企業と、インドでの投資および／または協力の機会を求めている日本の企業とをつなぐ役割を果たすことを目的としています。主に **Malcolm Baldrige** と **EFQM** のビジネス・エクセレンスモデルをモデルにしているBETの主な目的は、透明性のある評価を通じて中小企業のスケールアップを支援するだけでなく、ビジネスパフォーマンスを向上させようとしている企業の豊富なデータベースを提供することにあります。このデータは、センターが主催する調査研究にも利用できる。ただし、他のモデルとは異なり、**BET** インデックスモデルは、**5**つの成熟度レベル (L1～L5) に対する評価に基づいて、企業をビジネスエクセレンスの梯子の上に移動させるように設計されています。

ユニークな特徴



評価



パートナーシップ

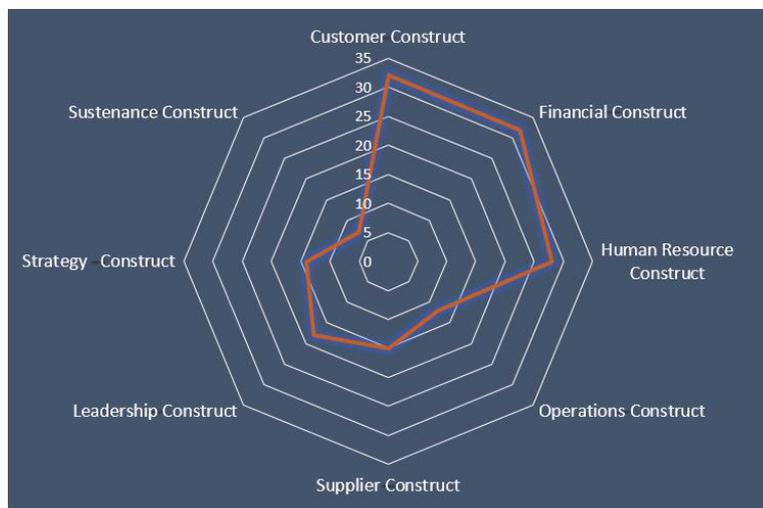


トランスフォーメーション



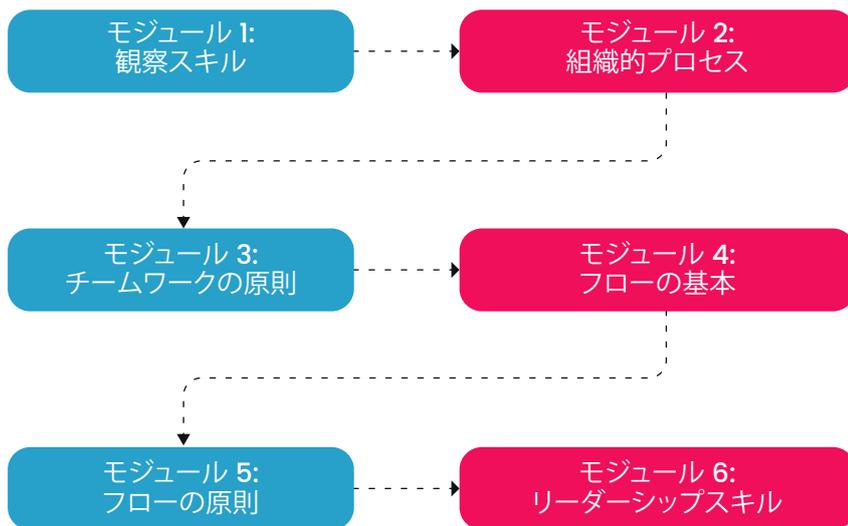
ポスト・パートナーシップ・サポート

ビジネス評価の構成要素



インドのビジョナリー・ラーニング・コミュニティ(VLCI)

このプログラムの発端は、日本と米国の著名な学者であるしよじ・しば教授の指導のもと、CIIが開始した「製造業のためのビジョナリーリーダーズ(VLFM)」プログラムにあります。このプログラムは、インドの製造業が製造業に関連する様々な分野で画期的な改善を行うことを支援するために2007年に開始されました。インドのビジョナリー・ラーニング・コミュニティ(VLCI)は、中小企業と大学教員の学習コミュニティを形成することで、工学系および理工系大学の学生に最先端の情報を提供することを目的としています。特に力を入れているのは教員のトレーニングで、教員は学生に流れの原理を含めた製造業の理解を深めてもらうためのトレーニングを行います。



国際会議

日印関係に関連した研究テーマに焦点を当てた国際会議は、知識のフロンティアを開拓することに関心のある研究者、実務家、専門家の年に一度の集まりとして計画されています。この会議の目的は、様々な分野の関係者が一堂に会し、ネットワークを広げ、アイデアを共有し、提起された問題に対する可能な解決策を生み出すことにあります。現時点では、COVID-19パンデミック後に物理的な方法で開催することを計画しています。様々な現代的なトピックについて、学術セッション、話題性のある政策討論、ワークショップ、パネルディスカッション、実務者向けの討論などを行う予定です。



交換プログラム

国際部(OIA)が実施しているIIMBのMBA学生と日本の大学との学生交流プログラムとは別に、日本の大学の学部生を対象に、インドの産業や社会に触れてもらい、インドの伝統や文化的要素、産業アプローチを学んでもらうためのユニークな没入型プログラムを計画しています。これは将来的には交換プログラムとなる可能性があります。

路上公演

路上公演は、人脈作りとMIJSCのさまざまな取り組みを紹介し、インドと日本の各都市で資金調達を行うことを目的として、2022年度から2023年度にかけて計画されています。通常、路上公演は半日のイベントで、お客様、見込み客、パートナーを集め、ソート・リーダーシップ、製品のデモンストレーション、ネットワーキングを行います。





企業支援

当センターは、総資産約1兆8900億ドルで、世界のトップ20行、日本のトップ3行に入るみずほ銀行と優れたパートナー関係にあります。みずほ銀行は、IIMBとのMoU締結により、MIJSCの設立と活動を支援するために、「教育の促進」を目的とした資金を提供することに同意しました。この資金はセンターの運営に不可欠です。また、MIJSCは、Toshiba、Suzuki、Sumitomoなどの大手企業との戦略的パートナーシップも増えています。

MIJSCを支援することは、センターが提供する下記のような多様な機会やプログラムを支援することになります。

- 新たなインフラ整備
- 日本語イマージョンプログラム
- 農村交流プログラム
- 客員研究員プログラム
- 研究委員会プログラム
- BPIMイマージョン・プログラム
- 国際会議
- 印日言語学研修プログラム (IJLP)
- インドのビジョナリー・ラーニング・コミュニティ (VLCI)



MIJSCは、企業や産業界からの支援に依存しており、皆様からのご寄付は、インドと日本の両方で、学術、研究、産業界のベンチャー企業としての卓越したビジョンを推進するために役立ちます。

社会的連携

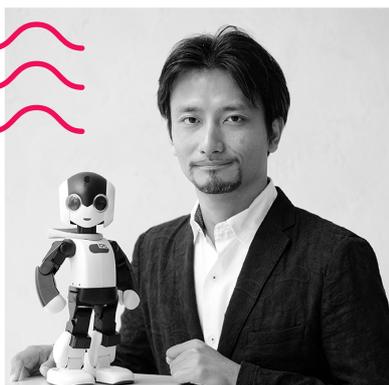
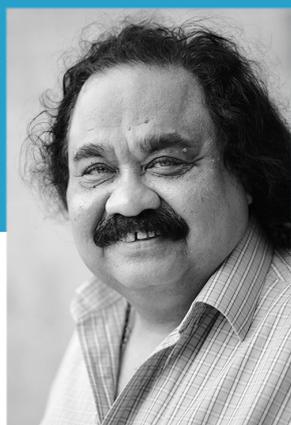


日本語プログラム

ユニークな没入型学習ベースの日本語コースがまもなく開始される予定です。IIMBをはじめとするインドの大学の学生を対象としたこのイマージョンベースのプログラムは、日本の大学と提携しており、日本の基礎知識、日本社会、日本文化を理解することを目的としており、日本での滞在も含まれています。

ウェビナー

毎月開催されるウェビナーは、MIJSCの社会貢献活動のハイライトの一つです。2020年に開始されたこのウェビナーのレクチャーシリーズは、「達人スピーク」と呼ばれ、専門家の交流を促進し、経営や技術の分野における質の高い情報や洞察を、情報を得て関心を持つ一般の人々に提供することを目的としています。





出版物

ニュースレター

「明か」という名前で四半期ごとに発行されています。MIJSCで実施された全てのイニシアチブと今後予定されているイベントの最新情報を掲載しています。

MIJSCモノグラフ

MIJSCが実施したウェビナーや会議から得られた学びを詳細に研究し、毎年英語と日本語で出版する学術書です。



図書館

MIJSCはIIMBの図書館に「日本セクション」を設置する作業を開始しました。このセクションでは、日本に関する研究に必要な書籍や定期刊行物を含む幅広い資料を収容し、これらの資料を教員、学者、学生が利用できるようにします。このセクションでは、日本に関する研究に必要な書籍や定期刊行物などの幅広い資料を所蔵し、教員や学者、学生が利用できるようにするとともに、日本研究に関連するさまざまな情報を提供します。



主要人物



D.クリシュナ・スンダール教授 (議長)



サイディーブ・ラスナム (COO)



最新情報は下記のプラットフォームでご覧ください。

IIMB

公式サイトで「#MizuhoIndiaJapanStudyCentre」をご利用ください。

 Indian Institute of Management Bangalore

 IIMBOfficial  @iimb_official

 https://youtu.be/UFv9js9Vc_8 をフォローして、MIJSCの最新映像をご覧ください。

お問い合わせはこちら:

india.japan.study.centre@iimb.ac.in

住所:

みずほインド日本研究センター
インド経営研究所バンガロール
バナーガッタロード、ベンガルール、インド 560076